

1 . 序 言

平成16年4月の法人化まで、一年あまりとなった。20年の歴史をもった岡崎国立共同研究機構は解消され、新たに岡崎の3研究所に国立天文台、核融合研究所を加えた自然科学研究機構が誕生する。本研究所では、極端紫外光実験施設の高度化計画が完成間近となり、分子スケールナノサイエンスセンター棟など物質創製グループのE地区移転をこの秋に控え、さらにナノグリッド支援計画など未来に向けたさまざまな計画が動きだし、共同利用研究機関としての責務を果たす努力を重ねている。

平成15年度の学士院賞受賞の榮譽に、本研究所名誉教授の岩村秀教授が輝かれたことは特筆すべきことであり、分子科学研究所を挙げてお祝いの言葉を捧げるものである。

平成15年3月
分子科学研究所長 茅 幸二